

最新技術の世界へようこそ！

大正 デジタル 未来ラボ



教育系クリエイター
あきとんとん

インフルエンサー
秋山みつき

スペシャルゲストも登場！



当日のミッションクリアで
スマートタグを
プレゼント！

大正大学 情報科学部

特別イベント

〈協力〉

SoftBank

TOPPAN

DiO
Digital
Information
Omni-channel

藤枝市
Fujieda City

※ 仮称 / 2026年4月設置構想中

日時

2025.2.16 SUN

オープン 10:00
プログラム 10:30 - 15:30

場所

大正大学

[〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨 3-20-1]

参加費

無料

対象

高校 1・2年生
(保護者含む)

プログラム

- 3Dプリンターで自分だけのオリジナルグッズ作成
- 東大寺のデジタルアーカイブを使用したVR操作体験
- 3Dハンディスキャナを使用した計測体験
- 生成AIを体験できるワークショップ

ほか

※プログラムの詳細は裏面をご覧ください。

お問い合わせ

大正大学 理事長室事業課

Tel : 03-5394-3245 (10:00~17:00 / 土日祝は除く)

Email : jigyou2@mail.tais.ac.jp

イベント
詳細



参加
申込み



大正大学

OPEN CAMPUS PROGRAM

まずは
ココから

情報科学部全体ガイダンス

▶ 10:30~11:00



井上 雅裕
学部長予定者

～皆様へメッセージ～

情報科学部の3つの魅力をお話しします。

第一の魅力は、「幅広い学び」です。AIやデータサイエンスなどの情報技術から、環境の保護や文化遺産に関する専門知識まで、文理を融合した学びを提供します。皆さんは、興味や将来の夢に応じた道を見つけることができます。

二つ目の魅力は、「実践的な教育」です。地域や企業と連携したプロジェクトを通じて、課題解決能力を実践的に養います。社会で必要とされるスキルが身につきます。

三つ目の魅力は、「未来への貢献」です。皆さんは、地域や世界の問題を解決するデジタル人材として、企業、官公庁、博物館、文化施設などあらゆる分野で活躍することができます。一緒に未来を切り開きましょう。

グリーンデジタル情報学科/デジタル文化財情報学科ワークショップ

▶ ①11:10~12:10 ②13:10~14:10 ③14:20~15:20



寺村 淳
グリーンデジタル
情報学科教員
(予定者)

デジタルな社会と自然との共生社会は相反するものではありません。防災・生活・都市計画、自然との共生社会を支えるデジタル技術を「ドローン」を通して紹介します。専門は伝統知・自然資源を活用した防災・災害史、川づくり。近年はグリーンインフラを活用した流域治水・Constructionを活用した土木遺産の保存に取り組む。



岩浅 有記
デジタル文化財
情報学科教員
(予定者)

デジタルは地域固有の自然文化と掛け合わせることで地域創生やビジネスのイノベーションを生む手段です。本日はデジタル文化財の可能性をご紹介します。専門は環境政策、自然観光、SX・GX。自然文化を活用した地域創生の社会実装を推進。行政委員や地域住民への講師・コーディネーターも務める。



阿部 信明
デジタル文化財
情報学科教員
(予定者)

デジタル技術と文化財保護の融合により、新たな可能性が広がります。文化財を社会へ、未来へ伝えるための取り組みをご紹介します。合同会社WHITE BASE代表社員。博士(国際情報通信学)。文化遺産のVR・3D映像活用の研究を経て、3D映像作品でスーパーバイザー/ディレクターを務めています。



村上 隆
大正大学
招聘教授

文化財は、先人の経験と知恵が詰まった「ものづくり」の結晶です。文理融合の学びの場で、デジタル技術を駆使して「文化財」の魅力を発信することに挑戦してみませんか。学術博士。京都大学大学院、東京芸科大学院修了。京都国立博物館学芸部長、京都美術工芸大学副学長を歴任。現在、高岡市美術館館長。

保護者様向けトークイベント

▶ 11:10~12:10

【ファシリテータ】

夏山 直道 (大正大学 教授)



ソフトバンク、NTTドコモなどの大手一流企業にて企業内幹部研修を実施。実践で活かせる実学、消費者心理マーケティングを主に知る一理解する一使えるようになる、の3段階にて指導。

【ゲスト】

みか穂 (子育てアドバイザー)



20歳で芸妓の世界に飛び込んで以降、熱海や京都を中心に日本全国で活動を行う。近年では、芸妓のみならず日本文化の魅力を海外に広める取り組みを展開。ヨーロッパのJAPANフェスに出演するなど「日本文化を通じて心を豊かにする」をモットーに、活躍の幅を広げている。

【本学教員】

海老原 嗣生 (大正大学 招聘教授)



大手メーカーを経てリクルートエイブリック(現リクルートエージェント)入社。新規事業の企画推進、人事制度設計等に携わる。その後リクルートワークス研究所『Works』編集長。2008年HRコンサルティング会社ニッチモを立ち上げる。

協力企業・自治体によるワークショップ

▶ ①11:10~12:10 ②13:10~14:10 ③14:20~15:20

SoftBank (ソフトバンク株式会社)

「情報革命で人々を幸せに」という経営理念のもと、ライフスタイルやワークスタイルに変革をもたらす通信サービスやソリューションを提供。大正大学とは「スマートユニバーシティ」の実現を目指し、2020年に連携協定を締結。大学のもつ教育分野への知見とソフトバンクのテクノロジーを融合し、学生や教員、そして、地域へ貢献する新しい教育モデルの実現を目指す。

ワークショップの内容

大正大学とソフトバンクで取り組むU-smart(スマートユニバーシティ)構想についてのこれまでの取り組みや、ソフトバンクが取り組む社会課題解決とはなにかについて、また新学部設置に合わせてソフトバンクが構想している内容等をWS形式で体験してもらいます。その他にも、最新技術やAIを使用した製品を展示します。

TOPPAN (TOPPANホールディングス株式会社)

「TOPPA!!!TOPPAN」をスローガンに、印刷やビッグデータ、メタパースなどの最新技術を用いて社会課題の解決に挑む総合企業。大正大学文学部日本文学科ではTOPPANがリリースしたオンラインくずし字解読支援システム「ふみのほ®ゼミ」を導入し、古文書の解読や学生の研究活動に活用している。情報科学部ではデジタルアーカイブやグリーンデジタルを推進するさらなる技術連携を予定。

ワークショップの内容

VR作品『東大寺 大仏の世界』の鑑賞と操作体験をとおして、デジタル文化財の意義や特長を理解していただきます。デジタル文化財が復興や地域活性化や教育などに役立てられている事例を紹介する講義や、デジタル文化財が社会課題解決にどう貢献できるかを考えるワークショップを実施します。

※実施回によって、講義がワークショップのどちらかになります。

DiO (株式会社 DiO)

「デジタルで世を照らす」をモットーに、日本の伝統や文化財をデジタル技術で解析し、保全・活用に取り組む企業。VR技術やメタパース技術を活用し現物の建築物や文化財をデジタルで保存する活動を推進しており、大正大学では現存するもっとも古い建物である4号館のデジタルアーカイブ化を行った。

ワークショップの内容

すがも鴨台さざえ堂デジタル探検隊と題して、VRヘッドセットを装着し、「VRさざえ堂」に飛び込んでもらいます。複数人でチームを組んで協力して、「VRさざえ堂」の探検に挑戦していただきます。

藤枝市 (静岡県藤枝市)

2021年に国土交通省の「スマートシティモデル事業」に採択された自治体。ソフトバンク株式会社と連携し、健康・教育・環境・危機管理の4K分野でICT・デジタル活用を基軸とした、重点的な整備を行っている。大正大学とは2017年より、地域社会の発展や人材育成を目的とした「包括連携協定」を締結。地域フィールドワークの実習地として毎年多くの学生が同市で地域に根差した学びを実践している。

ワークショップの内容

産学官連携によるDX推進の取組としてソフトバンクなど、多様な主体と連携した持続可能な都市づくりのモデル的取組を紹介します。特に、若い世代の既成概念を打ち破る発想を求める現場を紹介します。

※プログラムの内容は予定であり、予告なく変更する場合がございます。